

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 29 年 4 月分）

### 【景況感】

景気は一部に弱さが見られるものの、緩やかに回復しつつある。

### 【製造業】生産、受注は持ち直しの動きが継続している

○製造業は、工作機械等の一部の業種で生産が弱含んでいるものの、輸送機械（主に自動車産業）を中心に、金属製品や化学工業にも持ち直しの動きが見られ、全体としては緩やかな持ち直しの動きが継続している。

### 【地場産業】持ち直しの動きが継続せず、生産は弱含んでいる

○地場産業は、安価な海外製品等との競合や、円安や原油高による原材料費高騰により、収益が圧迫されるなど厳しい状況が継続しており、総じて弱含みがみられる。

### 【個人消費】消費は持ち直しの動きが見えはじめている

○個人消費は、大型小売店等の売上が前年同月比で弱含んでいるものの、新車販売台数や軽自動車販売台数は新車投入効果から増加し、5人以上の事業所における実質賃金が2カ月連続でプラスとなるなど、持ち直しの動きが継続している。

### 【観光】観光客数は減少したものの、宿泊客数は増加している

○観光では、平均気温が前年同月を下回ったこともあり公園等屋外施設利用者数が減少し、全体として観光地が減少となった。一方、宿泊施設は、増加となった。

### 【雇用】雇用情勢は着実に改善しているが、人手不足感が拡大している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、全国と比べても良好な数値であり、総じて県内の雇用情勢は着実に改善している。但し、人材が大手企業に流れ、多くの中小企業が採用難に陥っており、人手不足が慢性化している。

### 【設備投資】投資実績は底堅く推移するとともに、投資意欲も改善している

○設備投資の実施は、若干減少したものの、底堅く推移しており、設備投資意欲も改善傾向にある。設備投資の目的は、依然「補修・更新」がメインとなっているが、人手不足への対応のための「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」といった設備投資へのニーズも高まっている。

### 【資金繰り】資金繰りは悪化傾向が継続、借入難易感は改善している

○企業の資金繰りは、製造業で改善が見られるが、全体としては昨年々央から悪化傾向が継続しており、特に経営体力に乏しい小規模企業においては厳しい状況が継続している。借入難易感は、製造業・非製造業ともに改善している。